

平成 29 年度医療機能分化連携推進事業について

県では、回復期におけるリハビリテーション等の機能を確保するため、医療機関が既存病床を地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟等に転換する際の施設・設備整備に対して支援を実施

1 事業概要

高齢化の進行に伴う回復期の需要の増大に対応するため、回復期リハビリテーション等、回復期機能を確保するための設備・施設整備について、地域医療構想調整会議において、地域の目指す方向性との整合を確認した上で、県として支援を行う

【支援対象】

(設備整備) ※H27～継続

対象	リハビリを行うための治療機器や訓練機器等の導入経費
事業例	・物理療法を実施するための、超音波治療器や温浴療法用装置の導入 ・運動療法を実施するための、昇降練習用階段や平行棒、エアロバイクの導入 等

(施設整備) ※H29 新規

対象	回復期病床への転換に必要な施設の増改築・改修に要する工事費等
事業例	・病棟の増改築に伴う病室の整備 ・既存病室の改修（多床室の個室化等） ・リハビリを行う機能訓練室の整備 ・廊下幅の拡張 等

【支援要件】

- ・既存病床から回復期病床への転換であること
- ・転換後の回復期病床は、地域包括ケア病棟又は回復期リハビリテーション病棟として届出を行うこと
- ・事業実施以降の直近の年度の病床機能報告で、病床機能の変更を報告すること
- ・医療機関の所在する地域の地域医療構想調整会議における合意を得ること

2 平成 29 年度交付決定状況（第 1 回）

設備整備

医療圏	医療機関名	事業内容	整備機器
山口・防府	阿知須共立病院	地域包括ケア病床を 25 床増床し、回復期機能を強化 (地域包括ケア病床 20 床→45 床)	○渦流浴装置 渦流浴・気泡浴治療の両方に対応 ○練習用階段 歩行訓練として、階段昇降練習を実施
	柴田病院	地域包括ケア病床を 5 床増床し、回復期機能を強化 (地域包括ケア病床 15 床→20 床)	○プラットフォーム マッサージやストレッチ等のリハビリを実施 ○リクライニング車椅子 長時間の座位が困難な患者や血圧の不安定な患者に対し、リハビリに向けた容易な移動介助を行う
宇部・小野田	尾中病院	地域包括ケア病床を 2 床増床し、回復期機能を強化 (地域包括ケア病床 14 床→16 床)	○筋力トレーニングマシン 日常生活に必要な上肢、下肢の抗重力筋群の強化や、歩行時の横への安定性を高める中殿筋の強化を実施

施設整備

医療圏	医療機関名	事業内容	整備内容
宇部・小野田	宇部興産中央病院	地域包括ケア病床を 13 床増床し、回復期機能を強化 (地域包括ケア病床 38 床→51 床)	地域包括ケア病棟への転換に必要な、病室ドアの引戸改修、トイレの拡張改修、車椅子トイレの増設等を実施